取扱説明書

株式会社島津理化

100-815

PASPort™

高速応答プローブ　PS-2135

このたびは『高速応答プローブ PS-2135』をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

ご利用の際に, この取扱説明書をよくお読みいただき, 本器の機能を十分に生かして安全に正しくご使用ください。

ご使用に際しての安全上の注意事項

●この取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。
●いつでも取扱説明書が使用できるように大切に保管してください。
●当社で規定している注意の意味は次の通りです。

⚠注　意	取扱を誤った場合, 軽傷や中程度のけがを負う可能性がある場合, および物的損害の可能性がある場合。

1.　はじめに

高速応答プローブ（PS-2135）は温度を摂氏単位（－10℃～＋70℃）で測定するもので，PASPORT™温度センサやScienceWorkshop®サーミスタセンサに接続して使用します。高速応答プローブは温度勾配，気化冷却，外気温度の学習，また環境の学習にも応用できます。

プローブは対象物や皮膚の表面だけでなく，水中や化学溶液（強酸・強塩基を除く）中でも使用することができます。プローブには1mのフレキシブルワイヤが付いているため，長フラスコや試験管，水中などで測定するのに便利です。粘着マイラフォームカバーは，プローブの先端を皮膚や他の平らな面に貼り付けて使います。マイラは周囲環境の影響を減らします。

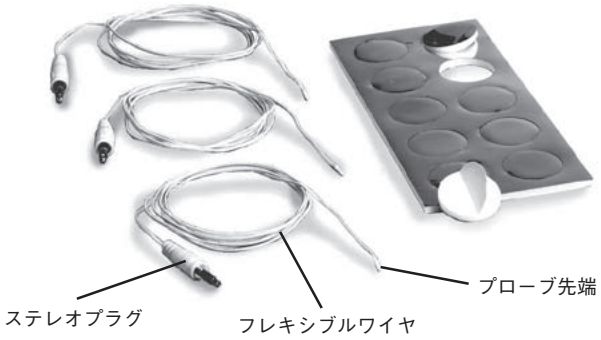

図1：外観図

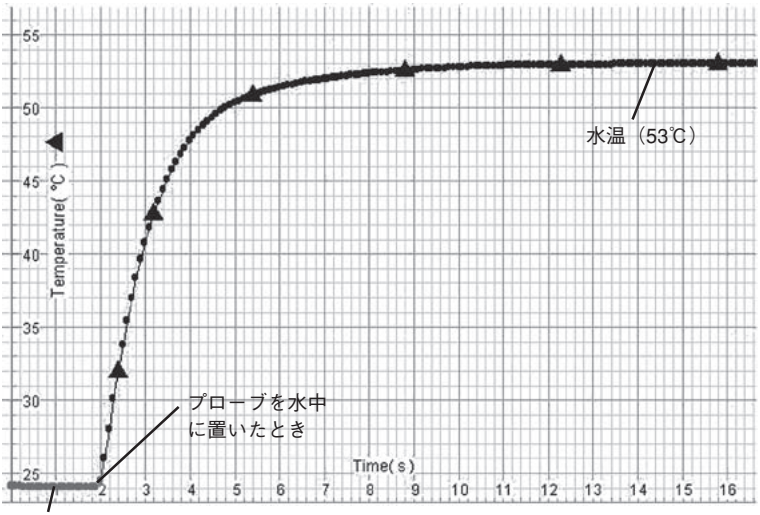

図2：サンプルデータ

2.　必要関連機器

・PASPORT温度センサ（PS-2125）またはScienceWorkshopサーミスタセンサ（CI-6527A）
・PASPORTインターフェイスとDataStudio（バージョン1.7以降）またはScienceWorkshopインターフェイスとDataStudio（バージョン1.8.5以上）

3.　プローブの仕様

測定範囲：　－10～＋70℃
精度：　　±0.5℃
分解能：　0.01℃以上

4.　セットアップ

1. 高速応答プローブのステレオプラグをPASPORT温度センサボックス，またはScienceWorkshopサーミスタセンサのポートに挿入します。
2. 温度センサをPASPORTインターフェイス，またはサーミスタセンサをScienceWorkshopインターフェイスに接続します。
3. データを記録するときは，測定する液体や対象物の中にプローブを入れ，DataStudioを起動し，“開始”ボタンをクリックします。

5.　粘着マイラフォームカバーの使用方法

1. 粘着マイラフォームカバーの1つをシートから取り外します。
2. 剥離紙を注意しながらはがします。
3. 高速反応プローブの検知部先端を，粘着マイラフォームカバーの粘着剤の中心に置きます。
4. 粘着マイラフォームカバーを滑らかな皮膚面（できれば毛のない部分）に貼ります。

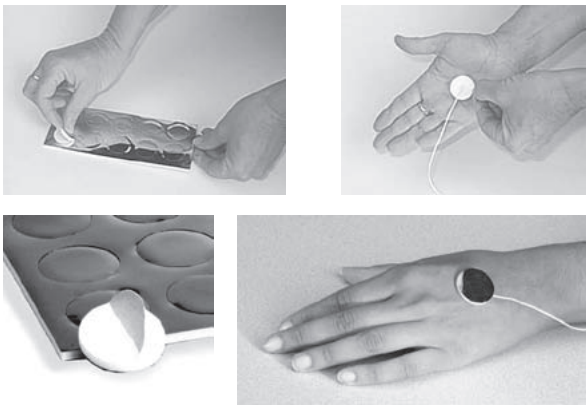

図3：粘着マイラフォームカバーの使用方法

6.　使用上の注意

・PASPORT温度センサやScienceWorkshopサーミスタセンサの校正は，一般には不要ですが，より高精度なデータを記録するには校正を行います。校正方法については，センサの取扱説明書をご覧ください。

・プローブをサーミスタセンサで使用する場合は，データの記録を開始する前に実験をセットアップします（すなわち，セットアップウインドウでサーミスタセンサのアイコンをクリックし，インターフェイスのアナログチャンネルまでそれをドラッグします）。

注意：プローブの損傷を防ぐために，プローブを炎の中に入れたり，ホットプレート上で使用するなど，測定範囲外では使用しないでください。

株式会社 島津理化

〒136-0071　東京都江東区亀戸6丁目1番8号
TEL.（03）5626-6600　　URL : http://www.shimadzu-rika.co.jp

本製品の技術的お問合せは，コールセンターまで
フリーダイヤル　**0120-376-673**（携帯電話，PHSではご利用になれません。）
受付時間　平日9：00～12：00，13：00～17：00
e-mail：soudan@shimadzu-rika.co.jp　　FAX：（075）823-2804

M100815D1002TY005

2010.02.05TD(D-4629)